

● 7月14日(月) 曇 移動(厚岸 ~ 士幌温泉)

○明るくなったので時計を見ると5時半を回っていた。昨夜の雨は殆ど止んでいる。昨日から天気予報を気にしているが、やはり16日が一番天気が良さそうだ。16日に大雪山・緑岳へ登ることにした。今年の北海道山紀行はこの緑岳で終わり、帰途に向かうことにした。

・朝食後 隣の諏訪のご夫婦といろいろお話しした。昭和14年生まれ、エプソンの時計技術者で水晶を削っていたという。今は写真を撮って歩いており、北海道は2週間の予定だと。写真、プリンター、北海道などと私と話が合うので面白くて1時間くらいお話し、楽しいひと時を過ごした。

・今日の泊予定は毎年お馴染みの士幌温泉。そんなに遠くないのでゆっくりと9時ごろ厚岸を出た。

・昨日横を素通りしてきた霧多布へ行ってみようと、昨日来た道を約30kmくらい戻り霧多布湿原へ出かけた。霧多布の名に相応しく一面の霧の中。湿原一面にエゾカンゾウとヒオウギアヤメ、ノハナショウブがいっぱい咲いて見事だが、遠くは霧でかすんでいて幻想的だ。

天気が良ければ湿原と太平洋が一望できるらしい「琵琶瀬展望台」も霧で何も見えなかった。天気の良い時にまたゆっくり来たいものだ。



花いっぱいの霧多布湿原



霧で視界の無い琵琶瀬展望台

・霧多布の海岸線を一周して厚岸へ戻り、釧路へと向かった。釧路はやはり大都市。車も多く釧路市街を通過するのにかなりの時間を要した。

釧路を抜けるとすぐ恋問についたが、ここもすっぽりと霧に包まれていた。霧が多い所だな。

・白糠から392号線を北上して本別へ向かった。内陸に入ると霧が晴れてきて天気も回復、真夏の日差しが暑くなってきた。道の駅「ステラ本別」で一休み。ここも何回も来ているが、今回ここがアオダモの生産地だということを初めて知った。野球バットの生産で有名らしく、道の駅の中に、アオダモからバットを作る行程の説明と今までプロ野球選手(小久保、小笠原、松井、イチロー、落合)が使ったバットが展示してあった。また一つ新たな発見があった。



小久保、小笠原、松井、イチロー、落合が使ったバットが展示してあった

・道の駅「土幌温泉」に15時ごろ到着。天気は良い。
こんな真夏間から本州各地のナンバーを付けた車でいっぱい
だ。どうも釣りやパークゴルフ目的で滞在しているらしい。
私の隣は名古屋と大阪和泉の車、前にいる栃木の車は釣り三昧
で3ヶ月くらい居るといふ。
天気が良いのでまず勝手知った道路向こうの水道場で洗濯だ。
天気が良いので干すとどんどん乾いて気持ちが良い。



・7月27日(日)に秦野で写真教室を担当しなければならないので、22日頃までには帰宅しなければならない。天気予報とカレンダーを見ながら今後の予定を練った。16日に緑岳に登って、18日(金)朝小樽からフェリーで帰ることにし、フェリーの予約を取った。これで今年の北海道も終盤を迎えた。
・予定が決まったので一安心。土幌温泉にゆっくりと入って良い気分、ビールが旨い！6時まえから飲み始め7時過ぎには夕食も完了。まだ明るいがあとは寝るだけ。周りの車はもう夕食が済んだのか、いつもならみんな外にいて食事をしたり、飲みながら話をしたりしているのだが、今日は人影が無くひっそりとして静かだ。年々キャンピングカーが増えてきたせいか、家族中心の行動をして周りの車とあまり接触しない人たちが多くなってきた感がある。おかしな時代が来たものだと思う。
・サッカーのワールドカップでドイツが優勝したと云っている。すごいね！ Good Night!

● 7月15日(火) 晴 移動(土幌温泉 ~ 大雪)

○15、16、17日の3日間は晴れるとの天気予報通り、今日は晴天の中の移動となった。

・朝4時起床。外は期待に反して一面霧に覆われている。多分日が出るころにはこの霧は晴れるだろう。今日の泊地予定は明日登る緑岳の拠点、大雪高原か高原へ入る林道入口の近くにある大雪防災センターにした。どちらにしてもここから数時間で着いてしまうくらい近い。さてこれからどうしようか。

・8時過ぎにのんびりと出発。この辺りには道の駅や寄りたいところがいろいろあるので、それぞれに立ち寄って時間を潰しながらのんびり大雪を目指すことにした。まず土幌で帰りのフェリーの支払いをし、瓜幕では洒落たシャツがあったので購入し、鹿追いへ。この辺りから天気が良くなり、真夏の太陽が照りつけて暑くなってきた。道の駅「しかおい」では木陰に駐車して一休み。風は涼しく気持ちがいいので、座席を倒して横のなりしばらくとうとした。

・同道85号(鹿追糠平線)を北上して大雪へ向かう。天気は上々だが大雪方面には雲がある。扇ヶ原展望台からは今来た鹿追・土幌の平野が見渡せるがかなり霞んでいる。



・懐かしい東又ブカウシヌプリの登山口の前を通り、細くて曲がりくねっている然別湖の湖畔を走り幌鹿峠を通過して糠平湖へ抜けた。途中然別湖畔に「南ペトウトル山登山口」という標識が目に入り興味をそそられた。糠平湖畔の糠平公園で昼食。快晴の日差しが暑いので木陰に車を止めた。誰もいなくて静かだが、一昨年は営業していた2回建てのログハウスは潰れたのか入口に板が打ち付けてある。



・三国峠でクマネシリ岳からウペサンケ山、ニペソツ山へと続くパノラマの展望を楽しんだあと大雪方面へ一気に下ってゆく。
・大雪高原防災ステーションに着いたのが13時すぎ。あんなにのんびりと走ってきたのに着くのが早すぎた。

天気は良いし、明日登る緑岳の登山口・大雪高原温泉へ行ってみることにした。



・以前にも来ているが、記憶が薄れ様子がよくわからない。車で泊まれるような場所ならそこで今夜はお泊まりだ。国道の入口からダートを約10km走って大雪高原温泉へ着いた。ヒグマ情報センターと高原山荘との後に緑岳への山並みが青空をバックに聳え、周りはスイスにいるようなすばらしい眺めだ。



・ちょうど緑岳から下山する時刻で、大勢の登山者が下りてくる。山の様子を伺ったら「風が強くガスもかかって天気はあまり良くなかった」そうだ。花情報は「第一お花畑も第二お花畑もまだ雪の下。尾根のホソバノウルップソウはもう終わっているしチョウノスケソウも終わり。白雲岳避難小屋の方へ下ると花が多い。」という貴重な情報をいただいた。今日移動中は天気が良かったので、今日登ってしまえば良かったかななどと思っていたが、山の上は天気が良くなかったようで、明日にしたのが正解だったようだ。

・ここは駐車場もトイレも問題無く、水も十分積んで来てあるので、今夜はここに泊まってしまおうかと思ったが、携帯電話が「圏外」で家との連絡がつかないので、ここで泊まるのはやめて、ここよりも生活環境が格段に良い大雪高原防災ステーションまでダートを10km走って戻った。

・それでも今はまだ3時過ぎ。ここに居てもしょうがないので暇つぶしに層雲峡方面へ目的も無く車を走らせた。この道は毎年何回も走っており、いつも気になっていた「大函」という標識が目に入ったので寄ってみた。なるほど、層雲峡の名勝の一つで、初めて鑑賞させていただいた。その後大雪ダムと大雪湖を眺めて防災センターへ引き返し、今夜の支度にとりかかった。



・この基地で面白い人間と出会った。大阪の青年2人で、なんと買い物キャリーを引いて、歩いて北海道を回っているという。今夜はこの草地にテントを貼って寝るといふ。二人とも名字が井上というのも面白い。



北海道を歩いて回っている大阪の青年

・夕食を摂っているとパトカーがやってきた。こんなところで泊まるので職務質問でも食らうのかと思ったら「200mほど先でヒグマが目撃されたので、今夜は注意してくれ」と丁寧なご忠告をいただいた。さてどうやって注意すればいいのやら？ 大阪の青年たちはあわてて食料を防災センターの中へ運び入れていた。テントじゃ恐いだろう。

夕食も終わったし、ビールも飲んだし、やることも無いし、ヒグマも怖いし、まだ6時過ぎで明るいけど、明日の晴天を祈りながら寝についた。明日は最後の山「緑岳」・花が楽しみだ。

向こうの方に一台お泊まりらしい黒い車が止まっている。今夜は私の車と2台だけだな。